

昭和大学附属烏山病院だより

# あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 岩波 明  
〔編集責任者〕 広報委員長 常岡 俊昭  
〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11  
〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 1 9 2 号

[ 2 0 2 3 年 8 月 3 1 日 発 ]

## ギャンブル障害治療連携会議

昭和大学医学部精神医学講座 講師 常岡 俊昭

烏山病院は東京都のギャンブル障害の専門医療機関と治療拠点機関に選定されています。(いわゆるギャンブル依存症の事を正式な医学用語ではギャンブル障害と呼んでいます)「依存症専門医療機関」は、都内に所在地を有する医療機関のうち、対象の依存症に関する治療を行っていて、選定基準を満たしたものを東京都知事が選定します。「依存症治療拠点機関」は「依存症専門医療機関」のうち、依存症に関する情報発信や研修を行うなど、東京都における治療拠点となる医療機関を東京都知事が選定します。ギャンブルに関しては実は東京都で選定されているのは当院だけになります。というわけで様々な部署と連携するために「令和5年度東京都西南部10区依存症関連機関連携会議」という会議に常岡と塚越看護師で出席してきました。

会議では医療からは当院とゲーム依存症外来をやっている東京医科歯科大学が参加し、行政やギャンブル障害に対する当事者団体(GA)の代表や回復施設(グレイスロード)が来られているだけでなく、弁護士など司法関係者も集まってそれぞれの困る事例についての相談が行えました。

依存症は当事者も家族も孤立しやすい病気ですが、実は援助者たちも孤立しやすい病気です。これは社会構造や偏見の問題もあるかも知れません。援助者もそれぞれの得意・不得意分野が存在します。例えば烏山病院を始めとする医療は、初期対応や緊急対応、死にたくなってしまったときの安全維持などには力を発揮しますが、「依存症になって良かった!」と実感してもらう「回復」に関しては自助グループや回復施設の方が力を発揮してくれます。借金などは司法関係者にお願いするしかありません。その際に、大事な患者さんを大切に扱ってくれる顔の見える援助者に直接手渡せることは当事者や家族にとっても大きな安心につながるのではないかなと思っています。

ちなみに当院でもギャンブル障害について外来では常岡が担当していますが、入院が必要になれば塚越看護師を始めとする信頼できる病棟スタッフに手渡しています。多くの援助者が絡み合って誰一人取り漏らすことのない大きなセーフティネットが出来ればよいかなと思っています。



## あざみ野ファミリー12ステップのご紹介

烏山病院では様々な地域で活動する支援団体と垣根の低い連携を目指しています。今回はその中の一つ、あざみ野ファミリー12ステップ、という自助グループに自己紹介をしてもらいます。興味のある方はぜひ「烏山の広報誌、あおぞらで見ました」と言って顔を出してみてください。

自助グループとは、同じ問題をかかえる人たちが自発的に集まり、当事者同士が対等な立場で問題を分かち合い勇気づけ理解し、問題を乗り越えるために支えあうことを目的としたグループです。仲間に出会い、「悩んでいたのは自分だけではなかった」という孤独が癒され、お互いの経験を聞きながら、自分の感情や問題に向き合い、仲間が絶望から希望へと変化して明るく笑顔になっていくのを見て、自分も生きる勇気をもらえたりします。参加対象者ならどなたでもミーティングに参加できます。

様々な自助グループの中から、「あざみ野ファミリー12ステップ」をご紹介します。

「あざみ野ファミリー12ステップ」は、アルコールやギャンブル、薬物、ゲーム依存や引きこもりなどの当事者だけでなく、当事者のご家族、友人、医療関係者の方々等、おかれた状況に関わらず、回復のための※12ステッププログラムに興味がある方ならどなたでも参加OKという、とても珍しいグループです。（※1935年にアメリカでアルコール依存症の二人の男性が、お互いの飲酒経験を語り合ったことから活動が始まったアルコホーリクス・アノニマス（Alcoholics Anonymous）から伝わる回復プログラム）異なった立場の方同士でも12ステップを学ぶことにより、プログラムを通して一緒に理解を深め励まし合うことで、他人への理解や共感、本当の愛情とは何か、を考えていける素晴らしいグループだと私は感じています。



---

### 【あざみ野ファミリー12ステップ 通常ミーティング】

毎月 第1・3水曜日 & 第2・4日曜日 時間 10:15～11:45

※9:45に開場しています。初めての方はお早めにお越しください。

---

【会場】 アートフォーラムあざみ野（男女共同参画センター横浜北）2階 企画室 1

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-18

横浜市営地下鉄・東急田園都市線 あざみ野駅下車 徒歩 5分

駐車場は有料、予約制です 045-914-5910（出来るだけ公共交通機関をご利用ください）

↓ホームページからミーティング中に利用できる保育の案内など詳細をチェックできます。

あざみ野ファミリー12ステップ <https://azaminofamily12.localinfo.jp>

## 足立病院アルコール依存症治療病棟副主任講演会

依存症治療は精神科医療の中でも病院による特色が出やすい分野になります。A病院のやり方は会わなかったがB病院のやり方では上手く行った、という話がたくさんあります。どこの病院のやり方が素晴らしい、素晴らしくないではなく「相性」の問題なのだと思います。「他のどの病院に行ってもダメだったけど鳥山で回復できた」という方もいらっしゃるれば、「鳥山はダメだったけど違う病院に行ったら楽しく回復した」という人もいるはずです。大事なのは医療との関りを切らさない事、だと思っています。

鳥山病院では普段から連携させて頂いている足立病院のアルコール依存症治療病棟の看護師さんに話を聞いてもらう機会を作りました。医療には色々な選択肢がある事を知ってもらえたらと思います。以下話して頂いた道見智絵看護師さんからのコメントです。ちなみに当院では希望されない患者さんも含めて全員に自助グループへの案内は実施しています。そんなところも病院間の違い、特色かも知れません。

「令和5年8月3日、鳥山病院にて当院の依存症治療の取り組みについて発表させて頂きました。

アルコール依存症は、御本人や御家族が病を受け入れ、治療し、回復に至るまでに長期間要する事もあります。治療半ばで再飲酒し、そのまま連続飲酒に至るケースも少なくありません。そこからの治療の再スタートは、御本人から回復への自信を奪ったりもします。

そこで、当院では治療からのドロップアウトを防ぐ為にも同年7月より“アルコケアあだち”というケアユニットを立ち上げました。今まで独自で機能していた外来・病棟・デイケアの3つの医療部門を一元化し、継続した医療体制の構築を目指しています。

外来部門では、電話相談から外来→入院までを継続して担当職員が関わらせて頂く事で、安心感を得られるような配慮を心掛けております。また、SBIRTS（エスバーツ）といって、問診を基に適切な治療選択と、希望される方には自助グループへのご案内も実施しております。

病棟部門では、離脱管理から酒害教育まで、3か月を1クールとした治療プログラムを行っております。日曜・祝日を除いた午前・午後に、多職種による講義や作業療法、自助グループや回復施設の外部講師からのメッセージ等、様々なプログラムを提供しています。更にコロナ5類へ移行後は、短時間の自由外出や断酒会への参加、OB会も可能となりました。また、お花見やバーベキュー等、お酒が無くても仲間と楽しめる思い出作りにも力を注いでいます。

デイケア部門では、病気の再発防止や生活の充実、社会復帰や就労等を目的に活動を行っています。参加は半日からでも、週1日からでも可能で、個々の生活事情に合わせたスケジュールを組む事ができます。こちらも日曜・祝日以外は開いており、プログラムも多種多様でいくつかの中から選択して行えるのが当院の自慢となっております。

最後になりましたが、このような貴重な場を設けて頂き誠に有難う御座いました。今回の発表を通して、少しでも当院に興味をお持ち頂けたら幸いです。」

猛暑の候ですが、デイケアでのガーデニング活動が、最近活発になっております。活動自体は以前から行われていますが、参加メンバーの精力的な活動により、かつてないほど多種多様な野菜——じゃがいも、かぼちゃ、ニンジン等——が栽培されているほか、ハーブや花、果物も栽培しています。詳細はデイケアセンター内に記載されております。

この時期の主な作業は害虫駆除と水やり、除草作業です。これらの作業はもっぱら人力で行います。炎天下の中で行う作業でやる気をそぐのは、なんといっても虫刺されと暑さです。前者に関しては、蚊取り線香はあるのですが、刺されるときは刺されるし、刺されるとかゆみのせいで集中力がなくなります。後者に関して言えば、筆者自身も心身ともに削られる苦しみを今でも味わっています。暑さが引いたら、もっと多くの人に参加してくれると信じたいです。

栽培された収穫物は主にデイケアメンバーにお裾分けされる他、生活講座プログラムの調理実習で使われることもあります。具体的なケースとして、5月の末に収穫したじゃがいもでふかし芋を作りました。また、別のプログラムではミントが無事栽培出来たら、かき氷に添える予定だそうです。



## 総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時  
 土曜日 8時30分～13時  
 電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329  
 土曜日 03-3300-5231  
 ◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時  
 土曜日 8時30分～12時  
 ◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《6月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,818(8,596)	6,211(6,398)
◇一日平均患者数	284.5(286.5)	248.4(246.1)
◆診療実日数	31(30)	25(26)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は [k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp) となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



## 【編集後記】

今年の梅雨明けは昨年より1日早かったそうです。いよいよ今年も夏が始まりましたね。年々暑くなってきていると感じるのは私だけではないのではないのでしょうか。気温が体温超えなんて日が珍しくなくなってきてしまいました。これも地球温暖化の影響なのではないのでしょうか。暑いと冷たい飲み物ばかり飲んでしまい体調を崩してしまうこともあります。スーパーへ行くと赤、緑、黄の鮮やかな夏野菜が沢山並んでいます。夏野菜は水分を多く含んでいるため体を冷やす効果があるとされています。夏バテ予防のためにも夏野菜を美味しく食べてこの夏を乗り切りましょう。

(広報委員 亀井)